

カウンセラーとコモンモラリティ

水野修次郎

本稿では、私がカウンセラー（認定カウンセラー、臨床心理士）という立場にあるので、その立場とコモンモラリティの関連を論じてみたい。

第一に、カウンセリングや心理学では、道徳を課題として扱うことは稀である（Nicholas, 1994）。善を行なうこととところが健康な状態との関係はあまり明白に論じられることがない。これはカウンセリングが個人主義を強調し、個人の自己実現や個人の幸福を問題とすることに由来（Bellah et al., 1991）。カウンセリングは、個人が抱えるいろいろな問題や課題がその人だけの問題であるという立場を取ることが多い。この立場は、コミュニティ論から痛烈に批判されている。たとえば貧困や情報の不足によって起きる問題は、必ずしも個人だけに帰せられる問題だけではない。社会の中の人間を等閑し個人の問題という観点からだけでは、善いことを実践するという社会的な側面とこのころの健康と深い関係があるという観点は生まれにくい。

第二に、カウンセリングや心理には、さらに次の特色がある。それは個人のコンテキストや特殊性を尊重する立場である。原理原則をすべての現象に当てはめると、その場の豊かな内容や特殊な状況性を失ってしまい、本当にその現象を理解したかどうか疑わしいことがある。そこで、カウンセラーはクライアントの理解を急がない。つまり、診断や審判を急がないで、理解しかかわろうとする態度やクライアントの語る世界に真摯な興味を寄せる必要性を説く。これは、急いで高みから判断し、診断し、処方しないことを意味し、理解しつくしてないという謙虚な態度とともにそこにいるという態度の尊重であり、クライアントが語る物語の権威者であることを尊重する態度である。

第三に、それでは普遍性や共通する原理原則の必要性はないのかという疑問が起きる。その点では、C. Rogers (1980) は、カウンセリングの三つの原則を唱えた。それは、①純粋性—自在に動いて透明性のある人間、②肯定的な全面的な受容—条件的な受け入れではなくて全体的に受け入れる、③共感的理解—これが進むとクライアントが表現していないことや無意識でいることも共感できるようになる。この三原則は決して分析的あるいは部分的な原理ではなくて、統合的で包括的な原理である。

だいたい論点が複雑になってきたので、ここで論点を整理してみよう。論点は以下の三つの点に示すことができる。

- ① カウンセリングは、道徳律や善の問題に不慣れである。
- ② カウンセリングは、特殊性やコンテキストを重視する。

- ③ カウンセリングは、分析的というよりは統合的であろうとする。

私の小論「専門職倫理とコモンモラリティ」で述べたように、コモンモラリティは道徳を真面目に考え実行している理性のある人間によって支持されている道徳である (Ross, 2002)。これらの道徳律は、法律によって決められた最低守るべき行動基準ではなくて、その中に道徳理想を含むものが多い。しかし、コモンモラリティは行動規範を示したものであることに変わりはない。

カウンセリングや心理学は、外側から規律や規範を当てはめたり、原理原則を振りかざしたりすることによって、かえって物事の真の理解から遠ざかってしまうことを警告する。しかし、それだけを強調し過ぎると普遍性を失い、人間のところや行動に通底する共通の現象を理解することができなくなる。

共通する規範や原理・原則も大切だが、特殊性も大切であるというのが結論となる。このことは、「人間は、あなたが思っているよりもはるかに複雑である」とするカウセリングの原点を思わせる。

当然、カウンセリングは善や道徳とこころの健康との関連について研究し、考察して、よく知ることが求められる。世界に通底するコモンモラリティも規範や道徳律という側面とともに、現実の適応に関して豊かな内容や特殊性を尊重できるものになることである。

この方向性は、徳性を尊重する道徳律 (virtue ethics) と同じ方向ともいえる。つまり、意志が

あり主体的に行動する *being* としての人間には、どのような徳が備わっている必要があるかという観点からみた道徳である。それは、善を行ない、おもいやり、誠実性、信頼、良心、決断力を備えた人間を目指す道徳である。これは、単なる道徳律ではなくて、卓越した道徳を目指す道徳といえる。動機、情動、行為主体がすべて道徳的であるというのである。

カウンセラーが職業人としての使命感に燃え、それにふさわしい専門性を身に付け、自他ともに専門家として認識され、しかも道徳的な人格を持ちあわせるというのである。これが、コモンモラリティとカウンセリングの結合であろう。

〈参考文献〉

- Ross, David (2002). *The right and the good*. NY: Oxford.
- Rogers, C.R. (1980). *A way of being*. NY: Houghton Mifflin.
- Nicholas Mary (1994). *The Mystery of Goodness*. NY: W.W. Norton.
- Bellah, R.I., Madsen, R., Sullivan, W., Swindler A., & Tipton, S. (1991). *The good society*. NY: Knopf.